

平凡無難なボーダー少女

川里光太

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ワールドトリガーの世界で、B級隊員の主人公が原作と関わったり関わらなかつたりうどんを食べたりするお話。そして地味にずれていく主人公と周囲の認識の差。これを人は勘違いという。

最強っぽいけどそこまで最強ではない。そんな女子高生（薙刀）が送る、ちよつとダンガー（笑）な非日常は、始まったばかりである。

目次

平凡少女

1

平凡少女

近頃、警戒区域や市街地付近に開くゲートの数が増えたらしい。私はしがたない女子高生の一隊員だが、一応ボーダーの正隊員である。下つ端の下つ端を地でいく私も、その異常ゲート？なるものの警戒と備えをしなくてはならない。やや面倒臭くはあるが。

とりあえず、今日の任務の報告書を提出してこよう。今日はなんと、あの嵐山隊長率いる嵐山隊との合同任務だったから普段より気分が良い。ファンとまではいかないが、この街のスターである彼らと過ごすのに気分が悪くなることはない。むしろいろいろ話していただいてホクホクです。

それはさておき。報告書などいつもなら端末から送信なのだが、今日は書類を届けてみようか。最近忙しくてあまり行けていなかったから、開発室にも顔を出したい。雷蔵さんの体調管理ができているか確認しなければ。太り過ぎはよくありません。

完成した書類をささつとまとめ、手頃なファイルに挟んだ。小さい頃から紙系のものは何かに挟む癖があるが、別に悪いようにはならんだろう。さ、報告書出して食堂で夜ご飯たべよ。うどんがいいなあ。あるかなあ。



本部長室前なう。さつき開発室に行って少し皆さんと話してきたんだけど、鬼忙しいらしい。手土産に私が作った洋菓子を少々持って行ったらすんごく喜んでくれた。甘いものが食べたいって頂垂れてたからまた持ってきてあげよう。あ、そうそう、そこで雷蔵さんに言われたんだけど報告書は本部長に渡しに行つた方がいらしい。なんかお願いされた。相変わらず眠そうな顔で、クッキーをもぐもぐしながら。うん、食べるか喋るかどっちかにしなさい。というか私なんぞに割く時間はあるのか。

とまあ、そんなこんなで本部長室前なう。(二回目)

正直、本部長は忙しいだろうし(異常ゲートの件もあるし)なあ。迷惑になるのは嫌なんだけども。雷蔵さんはこういうとき間違わないし、ふざけたりもしない。ちよつと迷うけど、迷うのに疲れたからいざ突入!小気味好いリズムで硬い扉をノックする。中から穏やかなイ→ケボで許可をいただいたので静かに部屋に入った。

…失礼します。

「ん?…やあ、久しぶりだね。報告書かな?」

頷いて報告書をファイルごと手渡す。んー、なんか疲れてるように見える？ やっぱ忙しかったのかなあ、すこーし隈もできてるし。ちよつとばかし心配だなあ、この人って私の直属の上司だしね。恐れ多いけど。

私が生つと見ているのに気がついたのか、報告書を引き出しにしまつて本部長は苦笑した。え、笑うところ？ 私の顔ですか？

「件のゲートの報告が立て込んでいてね、最近は本当に忙しくて……ああ、いや。君にする話ではないな。すまない」

男前で穏やかな顔してるから、なんか申し訳なくなる。別に私が悪いわけじゃないけどね？ うん。

ここで仕事してるのはこの人と、ああ、本部長沢村補佐さんもいるのか。でもここも鬼忙しいんだろうねえ、開発室は私が来るまで阿鼻叫喚だったし。隈もできていたのを思い出した。いや、みんな寝ろよ（一日睡眠10時間の奴）。

「最近はあまり顔を出していかなかったからな、来てくれて良かった。気分転換にもなったよ、ありがとう」

うわあ、これが俗に言う天然タラシですな。沢村さん……これにやられたのか……。気持ちにはわからなくもないけど。まあ、彼がこういうなら良かったんだろう。そうだろう。でもなんか収まりが悪いから、パーカーのポケットを弄つて出したそれを本部長の

デスクにふたつ置く。本部長が驚いたような顔をした。あ、なんかこれおもしろい。
「……飴玉？」

ピーチとみかんしかなかった。でも飴は忙しいとき舐めたくなるし、好きだからいつも持つてるんだよね。今はここにいないのか姿が見えないけど、彼女も一息つきたいだろう。……え、なんで微笑んでくるの、どうした。

待って、男前がすごい。やめて、まぶしい。

「ありがとう、沢村くんにも渡しておく」

え？ああ、お礼は大事だな。あと沢村さんに渡さなかったら瞠目して普通に引く。独り占めかよ、って。渡すらしいからしないけど。

よし、これであとは夜ごはん食べるだけだな。あそこは24時間営業だし大丈夫だね。来たときより爽やかな笑顔の本部長に見送られて、いざ食堂へ！あ、うどんなくなつてたらどうしよ。

……ラーメンでもいいかなあ。



食堂に……来たんだが……。おうふ……。麺類が！駆逐されていた……!! なんと
いうことだ!!!

「美味いか？最近あまり会っていないかったからな、心配になる」

あ、はい。というか何で私はここでカレーを食べているのでしょうか……？東さんこの人いつ
の間に私の正面を……!?

茶番はさておき。食堂に着いたはいいものの、残念なことに私が求めていた麺類が全
て売り切れていた。解せぬ。それでどうしようか迷っていたら、任務上がりらしい東さ
んに声を掛けられて奢ってもらって。ナチュラルにどれにする？とかきいてくるから、
カレーでって普通に答えちゃったよ！しかもカレーおいしいよ！やったね！

ふう、カレーうまうま。ここんところカツプラーメンばつか食べてたからこういう手
作りのものはいいね。あとでおばちゃんズにお礼言つとこう。地味に仲良いんだぞ！

バカっぽいことを考えていると、A定食を食べていた東さんが顔を上げた。

「それで、だいぶ任務が立て込んでいるようだが……。大丈夫か？」

え、全然。毎日いっぱい寝てるし。疲れてもいないけど。東さんこそ。

……ていうか、今更だけど東さんてめっちゃきついポストにいるやん。大変じゃん。

「俺はそこまでじゃない。……お前はまだ子どもなんだ、無理しすぎるなよ」

うわあ、ここにも天然タラシ!? ボーダーどうなってんだ!? あ、でも普通に心配してくれているのかな。それならお礼は大事だよ。私はちゃんとありがとうが言える子なのです。(ドヤア)

ふと時計を見ればいつのまにか午後7時半。そういえば、今日8時から予定があったんだよね。あと30分か：：間に合うな! でもそろそろ切り上げよ。

「もう行くのか。とりあえず、無理は禁物だから。またな」

ほんとかつこいいなこの人、ありがとうございます。ついでにお盆の片付けも笑顔で引き受けてくれた。ほんとかつこいい。

さて、家に帰るか。

.....あれ、鍵どこだっけ?



土曜日、大家さんの頼みでやってきました三門大学。なんでも、大家さんの知り合いに届け物をしたいだとか。しかも教授。でも所用があるから、つて頼まれた。いつもお世話になっている大家さんのお願ひなら、大学へのおつかいくらい朝飯前さ。

決して休日遊ぶ相手がいないとか、クラスで準ボツチの称号を欲しいままにしていると、そんなんじゃないんだからね！違うんだから！

とまあ、張り切つて出かけたのはいいものの。正直ここまで来るの大変だった。どうせそこまで遠くないし、とか電車代ケチつて歩きで行つたのが間違いだつた。2時間前の私を張り倒したい。まじで。(げっそり)

着いたから良かったけど、本当に方向音痴は恐ろしや……。道中、もう初夏なのにマフラーしてギラギラした目で「ネ：バーめ……：必ずやこの手で……：」とか言う中二病患者らしき変質者（高校生くらいだつたけど）にも遭遇したし。しかもちよつと睨まれたし！ネバーつてなんなんだよ、新種のレバーか？

え？いや、私はその症状、ちゃんと14歳で終わりにしましたからね？ほんとですよ？

「お？どうした、なんか用か？」

大学の施設内の廊下をうろうろしてたらヒゲのお兄さんに声をかけられた。え、誰？
というかなんだあんだ。目が格子状とかやばいな。しかも漂ってるのがダメそうな霧
囲気だぞ。大丈夫か。

「ああ、森原教授はあそこ右に行つて突き当たりの部屋にいる。今はほかに誰もいない
はずだ」

え、めっちゃいい人じゃん。ダメそうとか思つてごめんなさい。目もとっても素敵
ね。イケメンに見えてきたよ。数秒前の思考に申し訳なくなってくる。お兄さんごめ
んね。

「ま、俺さつき留年にするぞつて怒られてきたんだけどなー」

前言撤回。このヒゲ、留年しそうでもあつけらかんとしたバカみたい。呼び方などヒ
ゲで十分だ。私は間違つていなかった。さつきの罪悪感返せ。

あと、別れてから気がついたんだけど。教授の名前森原じゃなくて森川だぞ？
あ、おつかいは無事に終わりました。



11月になりました。今日もとてもいい天気で、ときおり爆音が聞こえてくる以外は平和です。そして叫びたい。突然どうしたとか、ダメだとか言われても私は叫ぶ！

……嘘だろおおおおおおおおおお!!?

……オホン。見苦しい姿を見せてすみません。でも仕方なかったんや。これは準ボツ^私チのせいもあるかもだけど、向こうが悪いと言いたい！そう、文化祭のクラスの出し物決まってた！しかもコスプレ喫茶！

そこまでは良かった！本音を言えば可愛い子たちのコスプレ？ふっ、私の一眼レフが火を噴くぜ。って感じだった。けれど、クラス全員の満場一致だという意見で、私の裏方でそれなりに働くという希望は潰えた。いやさ？

なんで私が！メイド服なんか着なくちやいけないんだよおおおおお!!?!?!

いや、うん。任務でそれを決める時間になかったのは申し訳ないと思う。決まったものに文句は言うまいと思ってる。けど、ウケ狙いだとしてもそれはねえだろう!!? おいチミたち！そんなに私を笑い者にしたいか!?

………決まったものは仕方ないと、クラスメイトの女子たちに嬉々として採寸を受けているなう。いや、皆さんコスプレ喫茶選んだくせにコスプレしたくなかったの？私に押し付ける目的？やだ、私とっても押し付けやすいじゃない。(白目)

もういいや、こうなれば私の神がかり演技力でこのクラスを一位にしてやろう！(各クラスで人気を競って優勝クラスは1ヶ月分の食堂無料券ゲットというかなり思い切った制度)

ウケを狙おうとした君たち、その通りになるだろうさ！だがな、可愛くないものが可愛いことをすることによってその威力は倍増するのだ！よく覚えていろよ！(白目)

「いい感じだねー、あんまり難しくなさそう」

「でもせっかくだから凝ったの作ろうよー」

「フリルとかこの辺にさー」

採寸かつメイド服恐怖を練り上げていく女子たち。きゃっきやと大変楽しそうですわ……。私じゃなくて可愛いお嬢さんらがやってくれ。その方がいい気がしてきたよ、うん。いや、決意が揺らめいたわけじゃないんだけどね。うん。

そう、やっぱりさ、嫌なものは嫌だって言った方が………ええええ!!優勝したら無料券くれるの!?!全力でやっります!ウエーイ!無料ー!(チヨロい)



はい。文化祭きつかった。三日間あって、クラスの出し物は2日目だったんだが、思いのほか繁盛した。一応、私も作って渡しておいたクッキーやらケーキやらの商品も飛ぶように売れて、私含むコスプレ隊は文字通り全力で動き回ってた。チャイナ服で颯爽と接客する委員長がとっても素敵でした……。

きりりとした美人さんまじすこ。(真顔)

結果、涙ぐましい努力によって、(私と数人の犠牲と引き換えに)無事に優勝することができた。2年だが特進のAクラス、それも豊作と言われた私たちのクラスは強かった。副委員長くんは涙目になりながらミニス力警官服で駆け回ってた。女装勢の人気ナンバーワンは君だ。可愛かったです、ほんとに。撮影はしました。

そんなこんなで無事に終わったと思っていたのだが、次の最終日、3日目は急遽任務が入ってしまい行けなかった。クラスのものとは終わっていたし部活にも入っていないので、ひとりで回る予定だった。しかしこればかりは仕方がない。哀れに思ったのか、2日目の片付けの際に一緒に回ってくると言った女の子たちには謝りを入れて任

務に向かった。くそう、生まれてこのかた、誰かと文化祭を回ったことないんだぞ!?!うわーん(泣)。

そして!あろうことかそこがいちばん大変だったんだよ!文化祭で表情筋を動かす力さえ使い果たしたつてんのに、出るわ出るわ。モールモッドやらバムスターやらバンダーやら。オールスターズってか。こちとら貴重なお誘いを蹴ってまで来てんじやワレ!普段は遠巻きにされてる準ボツチ舐めんなあああ!

B級の私はこの任務でだいぶ懐が温かくなった。それは嬉しい誤算だった。おこだった気持ちもトリオン兵たちに向かい今は落ち着いている。ま、学校は来年もあるしいいかあ。このクラスは最後だから楽しみたかったけど、クラスの出し物ができたからよかったよね、うん。

それにあの日から多少、クラスメイトが近づいてくれた気がする。自意識過剰だと思うだろうか?それが割とガチなのだよワトソンくん!もしかしたらボツチ脱出!?!いけるぞ私!頑張れ私!えいえいおー!

.....おお?突然本部からの呼び出しだあ。私なんかミスった?クビ?え、浮かれてたのが悪い?.....さいですか.....

私、逝つきまーす！（白目）



いやあ、呼び出しがクビとかじゃなくて良かった。もしそうだったら詰むわ。違かったから良かったけどね、切実に。

私がこのさんむい12月に呼び出しにくらったのは、どうやら私の能力が必要だったかららしい。そういえばほとんど触れなかったが、私はほかの人より多いトリオン量があるらしく、それに伴った副作用⁵が発現している。幼少期からずっとなので、私自身ボーダーに入るまではそういうものだと思っていた。知った時は、みんながそうではないという方に驚いた。今までに周囲と違うことがあっただろうと言われたが、これはボツチの運命。そこまで親密な人なんていなかったんだよ察しろよ……（泣）。

無駄話はさておいて。この、上層部の会議？ 的なものに呼ばれれば行くしかないし。え、怖いから断る？ その後の方が怖いわ。あの、城戸さんだっけ。指令の人。めっちゃ怖い顔してるし。密かにギャップ萌えありそうだなあと思ってることもない。

でもさ、大人は基本怖いからね！従っておこう！（小物感）

というか、呼ばれたけど私がすることなんてほとんどないんだが。ときどき頼まれたことを沢村さんに伝えるだけだぞ。いいのこれぞ。

そういうわけで、こんな機密性高そうなどこにいたくねえよ……とも言えずに端の方で立っている。白い髪の小学生みたいな……でも色からして中学生か。その子と、あと彼の友だちらしきメガネの少年。さつき白い方の子の付けてる指輪から炊飯器みたいな、でも意思を持つ機械が出てきた。いやはや、日本の技術はあそこまで進化していたのかと感心した。けど、色が変わる。おもしろいな。

……待てよ？……この会議にさも同然と出ている君たち何者だ!?あと玉狛のしおりちゃん、君もなかなか強かだな!?

2人の少年、一緒に来た玉狛の迅さんの3人が一度こっち見た。それなりに距離もあるので軽く会釈だけしといた。迅さんは以前お世話になったことがあり、面識はある。……忘れられてないよね？笑って手を振ってくれたから、覚えてくれていると思うけど。あ、軽い挨拶しかしなかったけど……態度悪いとか思われなかな？大丈夫だよ。私は自分の愛想の良さを信じてる。

さつきと変わらずやることもあんなないので、部屋内に浮かぶ暗めの色を見て、難しい話してんなーとか思ってたポケーっとしてる。分かりづらい色なので見ているだけ

で疲れる気がしてくる。

鬼怒田開発室長がなにやら言ってるけど、そんなに怒ってたら血圧上がっちゃうよ？
ていうか、なんの話かだいたいほ掴めたけど、私は混ざりたくないなあ。きぬたさん、
こつちに優先を向けてくれるなよ。

あ、件の異常ゲートはイレギュラーゲートとかいう名称らしい。いちいちカッコいい
よな。

話は変わるが、今日は長ズボンで来たのだけれど会議室わりと寒い。暖房効いてるだ
ろと若干薄着で来たのが良くなかった。膝丈のブーツのおかげで膝下までは暖かいけ
ど、腿の辺りがかなり冷える。カイロとか当てちゃダメかな？ダメだよ、はい。大人
しくしてます……。ちなみに、トップスは厚手のパーカーだからそこまで寒くない。髪
はいつも通りにきとうに下ろしているの、首回りもあつたかい。もう胸あたりまであ
るし、春になったら切ろうかな？

「……君はどう思う？」

え、ちよつと待つて。きぬたさんにはフラグっぽいのを立てたけど、忍田本部長には
立ててない！なんで下つ端私に振るのお!?やめてえ……。私のお花畑な脳内がバレ
ちゃうからああ……。

まあ、聞かれたからにはちゃんと答えるけどさ。えつと、攻めてくる国の話だっけか。

私はプロでもなんでもなし、本部長もそんな専門的なのは求めてないだろうから、これは素人目からでいいのかな。

神の国とやらのどれかが攻めてくるとして、ブラックトリガー、というものの多さを気にしている。それくらい力があるのだろう、話の流れ的に。そしてなぜか、私の本能？みたいなのが備えろ、って言うてるから、たくさん来るのかもしれない。そのブラックトリガーが。いっぱい作れないものだとしても、私の感覚がそう告げている。口に出しても、見えるのは間違った色ではない。経験則からわかる。これは正解の色だ。よかった、見当違いではないらしい。

思ったこととかを言う私を、少年たちが興味深そうに見ている。特に白い少年の赤い目が印象的だった。私の目も家系ゆえに赤いのだが、彼の作り物めいた赤色を見て変な感じがした。ほんとに私って感覚派だな。理路整然とか程遠いぞ。(今更)

「ありがとう、参考になった。ではー」

一通り喋り終わり口を閉ざすと、本部長が一瞬なんか考えて頷いた。その頷きはなんだい？あと、参考にしちゃっていいのかい？自分で言ったことだけど、本当にまんま思ったことを言っただけだからな。心配になってきたぞ。

まあいいや。別にそんな難しいとこの話はわからないし私は関わらんだろう。軽く盛り上がって会議が解散の流れになったので、暗い部屋を出ようと足を踏み出す。もち

ろん本部長や指令に声はかけたよ。本部長はともかく、指令相手は緊張したけどね。

それとなく、白い少年を一瞥する。もふもふの髪がかわいい。撫でてみたい。横のメガネの少年もかわいいな。将来有望な美少年たちだ。その後ろのがちイケメン迅は言わずもがな、だけどね。

視線を外して、エレベーターのある方向に足を進める。さ、今日こそはうどん食べるぞー。あつたかいのがいいなー。今日も売り切れてたら訓練用のブースでトリオン兵たちをポツコポコにしてやるー。

相変わらずバカっぽい思考を繰り返す私に、会議室を出てすぐに後ろから引かれる感覚。なんだろうと振り返れば、2人の少年と迅さんが。どうしたのかと首を傾げると、目を少し見張ったメガネくんと白頭くん。いや、どうしたんだ。困って視線を迅さんに向けると、ぼんち揚片手ににへらと笑っている。かわいいなこの人。

「よかつたら、お昼一緒にどう?」

イケボだな。そして迅さん、それは免疫ない人にやつたら勘違いされますよ? 私はそんな肝座つてないけど。

ちなみに、3人のお昼はもちろん快諾した。みんなで食堂まっしぐらだぜ。最近わりと奢ってもらってるけど、今回の奢りは迅さん。ゴチになりまーす!

あれ？ 麺類オール売り切れ??

……誰だどこぞの駆逐系男子（麺バージョン）やってんのはオラああああ!!!

こうして、平凡無難なボーダー少女の非日常は今、新たな運命へと進んでいく……。
（言ってみただけ）